

2020年3月期 第2四半期

決算補足説明資料

2019年11月14日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証一部)

2020年3月期 第2四半期 連結損益状況

2020年3月期 第2四半期 セグメント別実績

2020年3月期 第2四半期 営業外及び特別損益

2020年3月期 第2四半期 営業利益分析

2020年3月期 第2四半期 連結財務状況：対前期末

2020年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況

2020年3月期 通期業績見込み及び年間配当予想

2020年3月期 第2四半期 連結損益状況



	2019年3月期 第2四半期 実績		2020年3月期 第2四半期 実績				2020年3月期 上期予想 (9/27修正)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	69,986	100.0	72,445	100.0	+2,459	+ 3.5	73,000	99.2
営業利益	2,502	3.6	2,878	4.0	+376	+ 15.0	2,800	102.8
経常利益	2,161	3.1	2,459	3.4	+298	+ 13.8	2,200	111.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	800	1.1	2,062	2.8	+1,262	+ 157.7	1,800	114.6

● 2020年3月期 第2四半期業績概要 (対前年同期)

- ▶ 売上高：日本国内・中国を中心に、新規立ち上げや客先生産台数の増加により、+3.5%(+2,459百万円)増収。
- ▶ 営業利益：国内の運送費や人件費等固定費の減少、欧州新規立上げの混乱鎮静化に伴うコスト減少等により、15%(+376百万円)増益。
- ▶ 経常利益：為替差損▲628百万円が発生したものの、+13.8%(+298百万円)増益。
- ▶ 純利益：不動産売却益(1,919百万円)により、2.5倍(+1,262百万円)の大幅増益。

● 為替レート

損益換算レート (単位：円)	2019年3月期 第2四半期 平均レート	2020年3月期 第2四半期 平均レート	変動率	業績予想レート
ドル	108.7	110.1	+1%	105.0
ユーロ	131.6	124.3	▲6%	120.0
メキシコペソ	5.7	5.8	+1%	5.5
人民元	17.1	16.2	▲5%	15.7
インドルピー	1.6	1.6	▲3%	1.5
タイバーツ	3.4	3.5	+2%	3.3
ロシアルーブル	1.8	1.7	▲8%	1.6
ブラジルリアル	31.9	28.7	▲10%	27.7

2020年3月期 第2四半期 セグメント別実績

	売上高			営業利益		
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	対前年同期 増減	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	対前年同期 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	26,569	28,007	+1,438	391	1,443	+1,052
北南米	22,281	22,380	+99	1,130	568	▲563
欧州	12,729	12,533	▲196	▲260	▲75	+185
中国	8,336	9,674	+1,338	178	255	+77
アジア	11,504	11,329	▲175	1,045	943	▲102
連結調整	▲11,433	▲11,478	▲45	18	▲256	▲274
合計	69,986	72,445	+2,459	2,502	2,878	+376

● 2020年3月期 第2四半期の地域別業績のトピックス (対前年同期比)

- ▶ 日本【増収・増益】樹脂製品の増産が寄与。生産改善による異常便の削減等や本社費の圧縮により、利益率も改善。
- ▶ 北南米【増収・大幅減益】輸入環境の悪化（為替等）により、米国拠点の材料輸入コストが増加。また品質検査人員増により人件費も増加。メキシコも景況悪化の影響を受けた。
- ▶ 欧州【減収・増益】環境規制の強化等で英・独で売上減。円高により円換算後の売上高縮減。独子会社は人員削減を含む徹底した業績改善策を実行中。その他新規立ち上げが売上に寄与したほか、立ち上げに伴う品質コスト・物流コストにも落ち着きが見られ、営業損失減少。
- ▶ 中国【増収・増益】新環境規制に適合する部品の需要増および新規立ち上げが売上・利益に寄与。固定費抑制により、利益率も向上。
- ▶ アジア【減収・減益】韓国では顧客減産の影響を受け、タイも受注好調に陰り。インドは環境規制の強化や金融情勢等が受注に影響。タイ労働法改正で退職関連費用が追加(▲40百万円)。

2020年3月期 第2四半期 営業外及び特別損益等

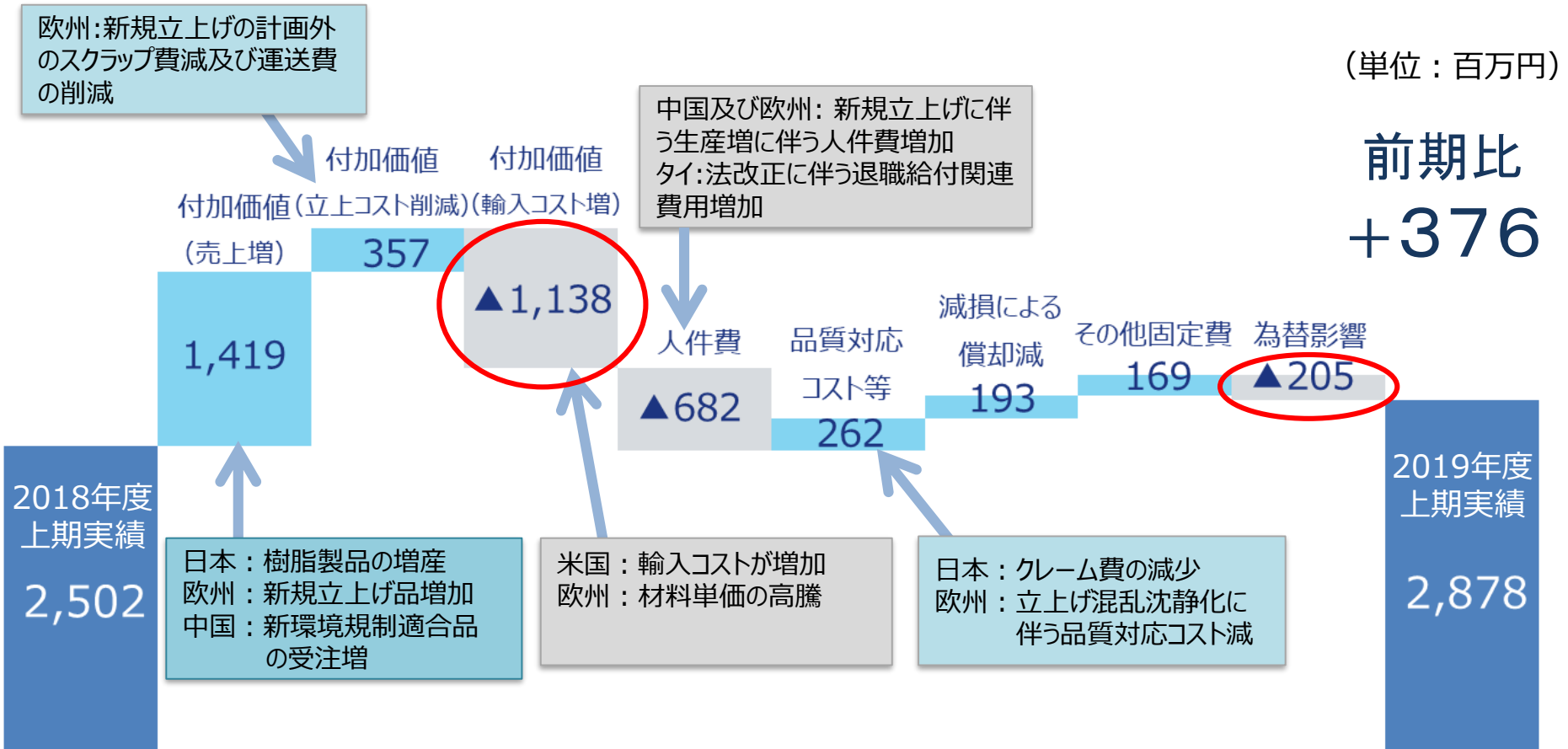


(増減額の符号は対利益符号)

連 結		2019年3月期 第2四半期 実績	2020年3月期 第2四半期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)		
			金額 (百万円)	金額 (百万円)		対前年同期	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益		2,502	2,878	+ 376	+ 15.0		
営業外 損益	営業外収益	240	612	+ 371	-	- 受取利息 +66 - 雑収入 +287 (保険金及び補助金等)	
	営業外費用	581	1,031	▲ 449	-	- 為替差損 ▲486	
経常利益		2,161	2,459	+ 298	+ 13.8		
特別利益		2	1,931	+ 1,929	-	- 不動産売却益 +1,919	
特別損失		341	436	▲ 95	-	減損損失 ▲117 - 前期: 1Q ▲160 (日本▲95、中国▲65)、2Q ▲108 (日本▲93、中国▲14) - 当期: 1Q ▲302 (日本▲164、欧州▲137)、2Q ▲83 (日本▲83)	
税引前利益		1,822	3,954	+ 2,132	+ 117.0		
法人税等		549	1,507	▲ 959	-		
非支配株主利益		473	384	+ 88	-		
親会社株主に帰属する 四半期純利益		800	2,062	+ 1,262	+ 157.7		

2020年3月期 第2四半期 営業利益分析

全体で見ると増収かつ、コストコントロールも改善傾向にある。
 ただし、為替影響含む輸入環境等の外部環境要因の不透明感は残る状況。



注：付加価値（売上増）＝連結全体の売上増（為替補正後）×前期付加価値率（為替補正後）

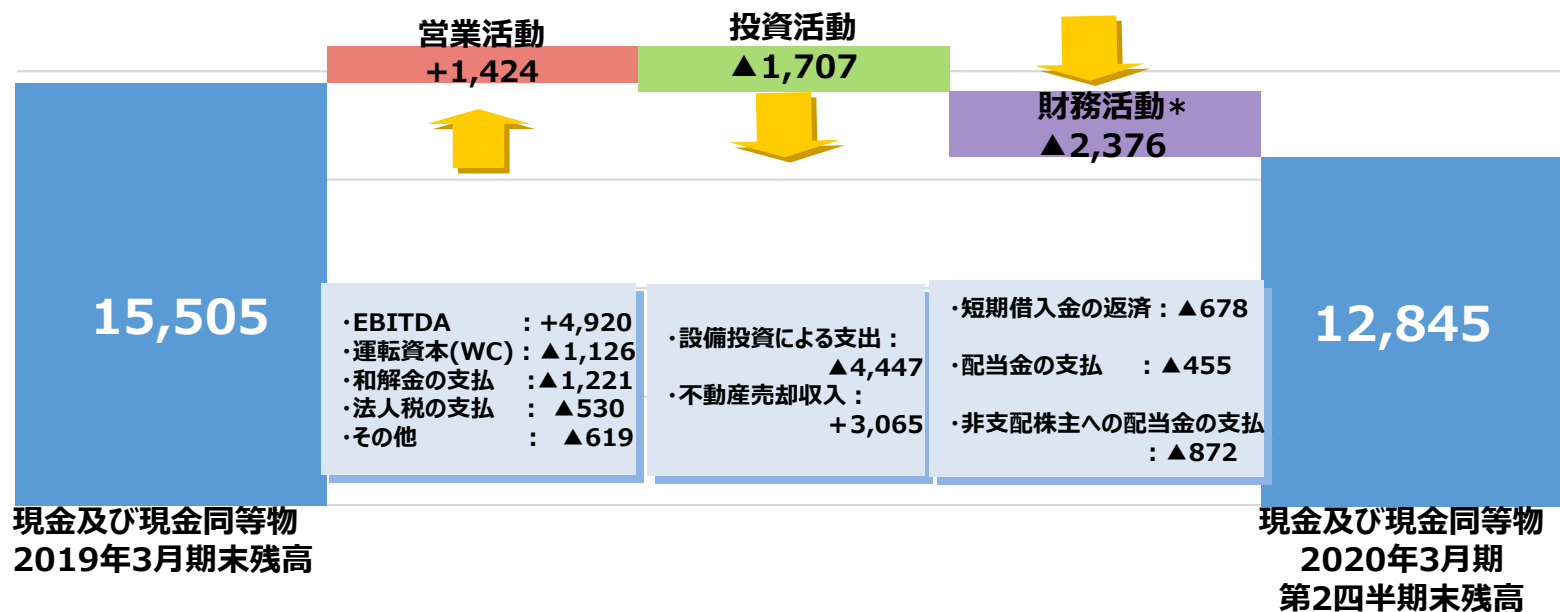
2020年3月期 第2四半期 連結財務状況：対前期末

連 結		2019年3月期末		2020年3月期 第2四半期末			
		実績 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
流動資産	流動資産	59,352	58.1	56,441	57.0	▲ 2,912	総資産： ▲3,059 減少 ① 現金預金▲2,659 (不動産売却収入が発生した一方、運転資本が増加し、 和解金支払・有利子負債圧縮を実施) ② 棚卸資産▲1,476 (在庫低減活動の効果) ③ 土地、建物及び構築物▲1,060 (不動産売却) ④ 建設仮勘定+1,500 (設備投資による(含む設備内作)) ⑤ 投資有価証券▲337 (保有株式の時価下落)
	固定資産	42,800	41.9	42,653	43.0	▲ 147	
資産合計		102,152	100.0	99,094	100.0	▲ 3,059	
流動負債	流動負債	52,935	51.8	50,073	50.5	▲ 2,862	
	固定負債	14,571	14.3	13,793	13.9	▲ 778	
	負債合計	67,507	66.1	63,866	64.5	▲ 3,640	
純資産合計		34,646	33.9	35,227	35.5	+ 582	純資産： +582 増加 ⑩ 利益剰余金+1,608 (四半期純利益計上した一方、前期末の配当金を支払) ⑪ その他有価証券評価差額金▲247 (保有株式の含み益減少) ⑫ 為替換算調整勘定▲347 (円高による海外子会社株式の含み損益悪化)
負債純資産合計		102,152	100.0	99,094	100.0	▲ 3,059	

- ・手持ちキャッシュ：月商の1.06ヶ月分
- ・流動比率：112.1%⇒112.7%と横這い。当座比率：66%⇒65%へ低下。
- ・有利子負債：358億円⇒347億円、D/E：1.03⇒0.98、ネットD/E：0.58⇒0.62
- ・純資産比率（対総資産）：33.9%⇒35.5%へ改善

● 2020年3月期 第2四半期連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



* 現金及び現金同等物に係る換算差額 (▲85百万円) は 財務活動に含めております。

● 設備投資/減価償却の状況

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	
		実績	対前年同期
設備投資額	4,039	4,447	+ 407
減価償却費	2,705	2,594	▲ 112

上期実績および最近の業績動向等を踏まえて通期予想及び年間配当予想を修正

	2020年3月期 第2四半期 修正業績予想 (①)	2020年3月期 第2四半期 実績 (②)	増減 (②-①)	2020年3月期 通期 当初業績予想 (③)	2020年3月期 通期 修正業績予想 (④)	増減 (④-③)
売上高	73,000	72,445	▲555	145,000	143,000	▲2,000
営業利益	2,800	2,878	+78	2,600	4,500	+1,900
【営業利益率】	3.8%	4.0%		1.8%	3.1%	
経常利益	2,200	2,459	+259	2,000	4,000	+2,000
【経常利益率】	3.0%	3.4%		1.4%	2.8%	
当期純利益*	1,800	2,062	+262	600	1,800	+1,200
【当期純利益率】	2.5%	+2.8%		0.4%	1.3%	
一株あたり純利益 (円)	49.46	56.66	+7.20	16.49	49.46	+32.97
配当 (円)	3.0	7.5	4.5	6.0	15.0	+9.0

*親会社株主に帰属する当期純利益

連結通期業績予想及び配当予想を修正した要因

以下の業績動向を踏まえ、通期見込予想及び年間配当金予想を修正します。

◆業績修正

- ・売上高：環境規制強化の影響等により、欧州やインドでの売上減少が見込まれるため。
- ・営業利益・経常利益：国内・海外拠点における生産効率改善や経費削減の効果等が見込まれるため。
- ・当期純利益：欧州で人員削減に伴う特別損失が発生するが、国内不動産売却益の計上により、増益が見込まれるため。

◆配当予想の修正

- ・当期純利益が、前回予想に対して増益の見通しであること等を総合的に勘案した。

このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。